

日本昔話ばなし



橋立小女郎

ハンダテコジョロウ

成年
コミック

池竜静留

むかしむかし

丹後の国の
「天橋立」には
一匹の白狐が
棲んでいた

はしだてこじょうろう
橋立小女郎

美しい女に化けては
人を騙していたため
その名がついたと云う



ある日の
こと

江尻村の漁師の
源十と太平が舟に
魚や野菜を積んで
宮津の港へ
向かっていた

舟が千貫松に
さしかかった時
可愛らしい
女子の声
聞こえた

もし、その
お二人さん

わっちは
旅の娘で
ござりんす
どうか宮津まで
乗せてって
おくんなんし



くすん
お願いで
ございりんす… 足を痛めて
歩けえせん…
くすん



ほっとくべ
寄り道なんぞ
しとる暇は
ないんじや

はて？
声はするが
姿が見えん



あまりに
悲しそうな声で
懇願されたので
源十は仕方なく
船を浜に着けた

ええいッ
行ってやるわい
チクシヨウめ!!



しかし
いくら探しても
娘の姿は見当たらず

どこにも
おらんぞ!!

さては
子女郎の
仕業か!!

子女郎に騙されたと
気づいた源十は
カンカンに怒った



しかし
一番上等な
鯛を入れた籠を
引っ張り出した
時だった



遅れを取り戻す
ために二人は
船いっぱい
魚を急いで
荷揚げした



それから
少し後
二人は子女郎に
腹を立てつつも
宮津の港についた

なんと
籠の中の魚は
全て消え失せ

子女郎が
満足そうに寝て
いたのだった

これには
源十も
堪忍袋の
緒が切れて

子女郎を
叩き殺そうとした

あまりの剣幕に
驚いた子女郎は



堪忍して
おくんなんし
漁師さん!
もう二度と
悪いことは
しんせんで
命だけは!

と、耳と尻尾を
隠すのも忘れる
ほど大慌てで
娘に化けて

同情を誘うように
命乞いをした

もう
騙されんわい!!

しかし
源十の怒りは
収まらなかつた

あれえっ



子女郎の
身包みを剥ぎ取り
荒縄で縛り上げて
辱めた

ぎゃんっ...

くさん
縄が食い込んで
痛うてたまりません

どうか解いて
おくんなんしい

ざぎち

ざぎち



ぽろ

ぽろ

くさん

と
すすり泣きながら
懇願する子女郎



ケモノとはいえ
その姿はあまりにも
扇情的だった

アッ



浜についた二人は
子女郎を魚籠から
引きずり出した



聞く耳
持つかコノツ!!!

ビクン

ガイ

ブクン
んんんああ!!!



もう
勘弁ならん!!

何度も何度も
化かしおって!

ビクン



ご、誤解で
ありんす!

わっちは
なにもして
ござりんしん!



人間様の怖さ
体に叩き込んで
やらあ！

ギョウウウウウ

ギョウ
ギョウ

ギョウ

ウウ



痛い痛い
痛いイイツ!!

股が裂けて
しまいんすう!!

ニキ

ニキ

うろせえ!!



ギョウ

ギョウ
ギョウ



もう
堪忍してえ!!

小便が!

小便が漏れて
しまいんすう!!

ギョウ



ケエーン
ケエエーン

ポロポロ

ポロポロ



ふえええん
こんな辱め
あんまりで
ありんすう

ポロ

ポロ

とんだ変態
女狐じゃのう



コイツ
獣臭いしょんべん
漏らしながら
絶頂しおったぞ!!

ポロポロ

おいおいおい!!



やめて
おくんなんし!

こんなの
入りません!!

アキ アキ



入らねえ
だあ?

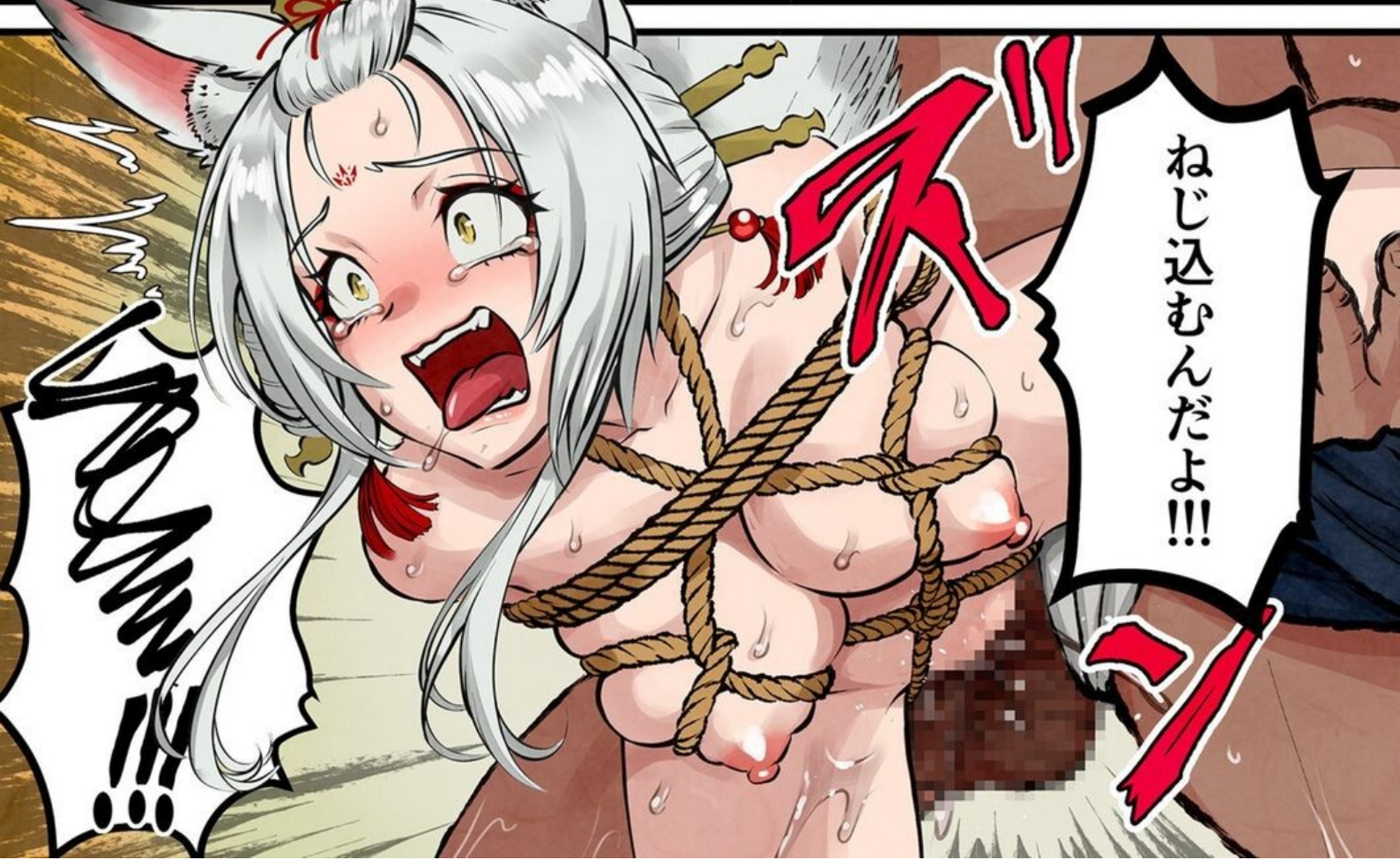
アキ アキ



ビィッ!

なあに
言ってる
でえ
本番はこれから
じゃあ!!

ず にっ



アキッ!!!

ねじ込むんだよ!!!

ズッ



※土器玉門 (からわけつび) パイパンま○この古語



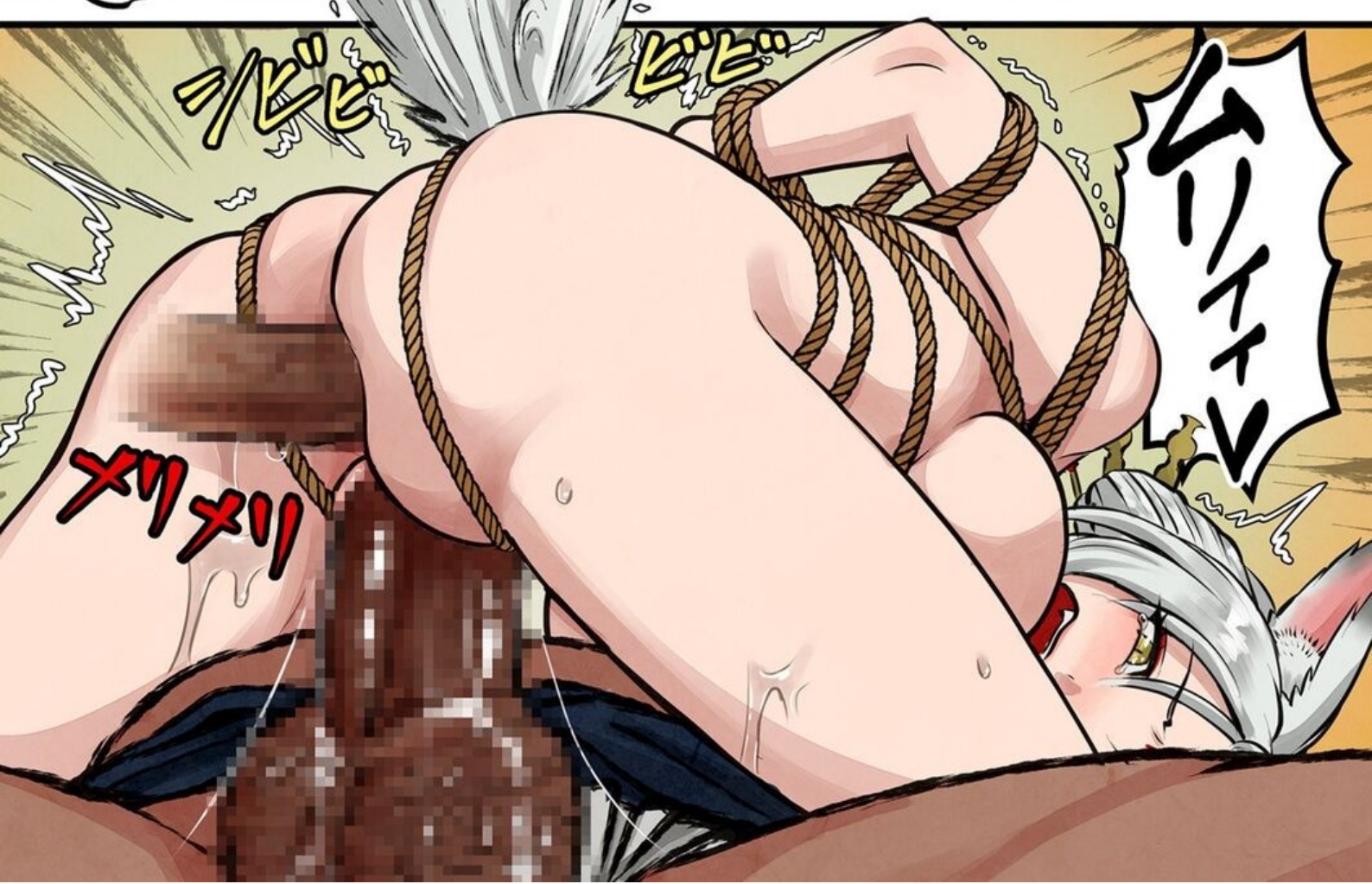
悪いな大平
この土器玉門は
ワシのイチモツ
で一杯じゃ
代わりに



源十!
ワシにも
やらせてくれえ!



こやつ
とんでもない
名器じゃあ!!

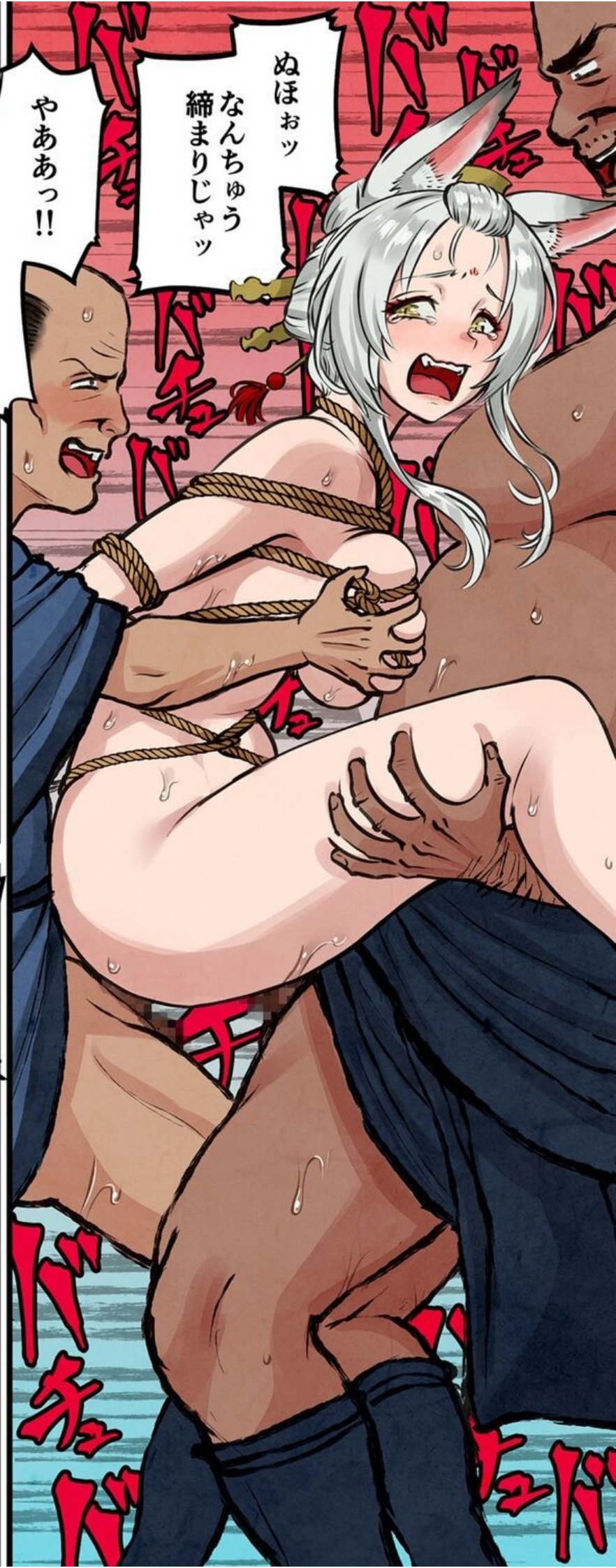




腹の中でゴリゴリ
擦れてやすウラツ

やああっ!!

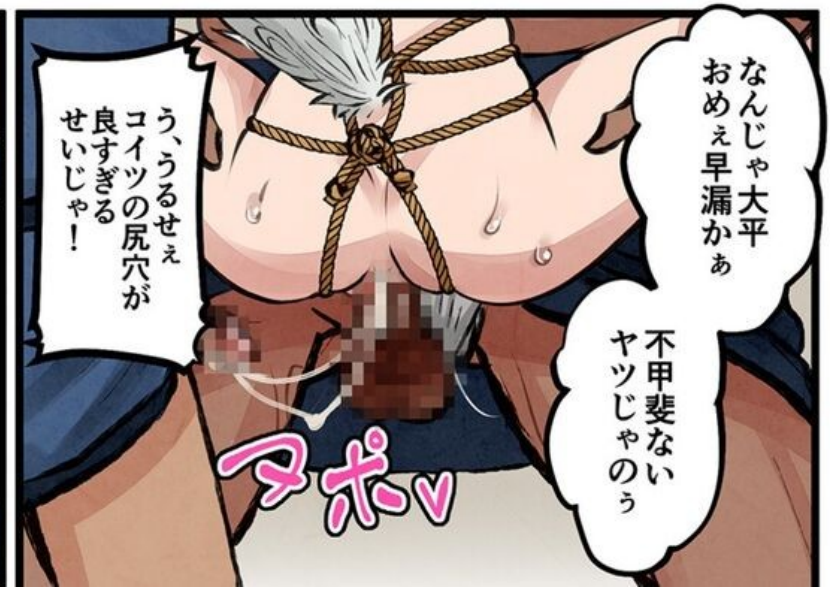
ぬほおツ
なんちゆう
締まりじやツ

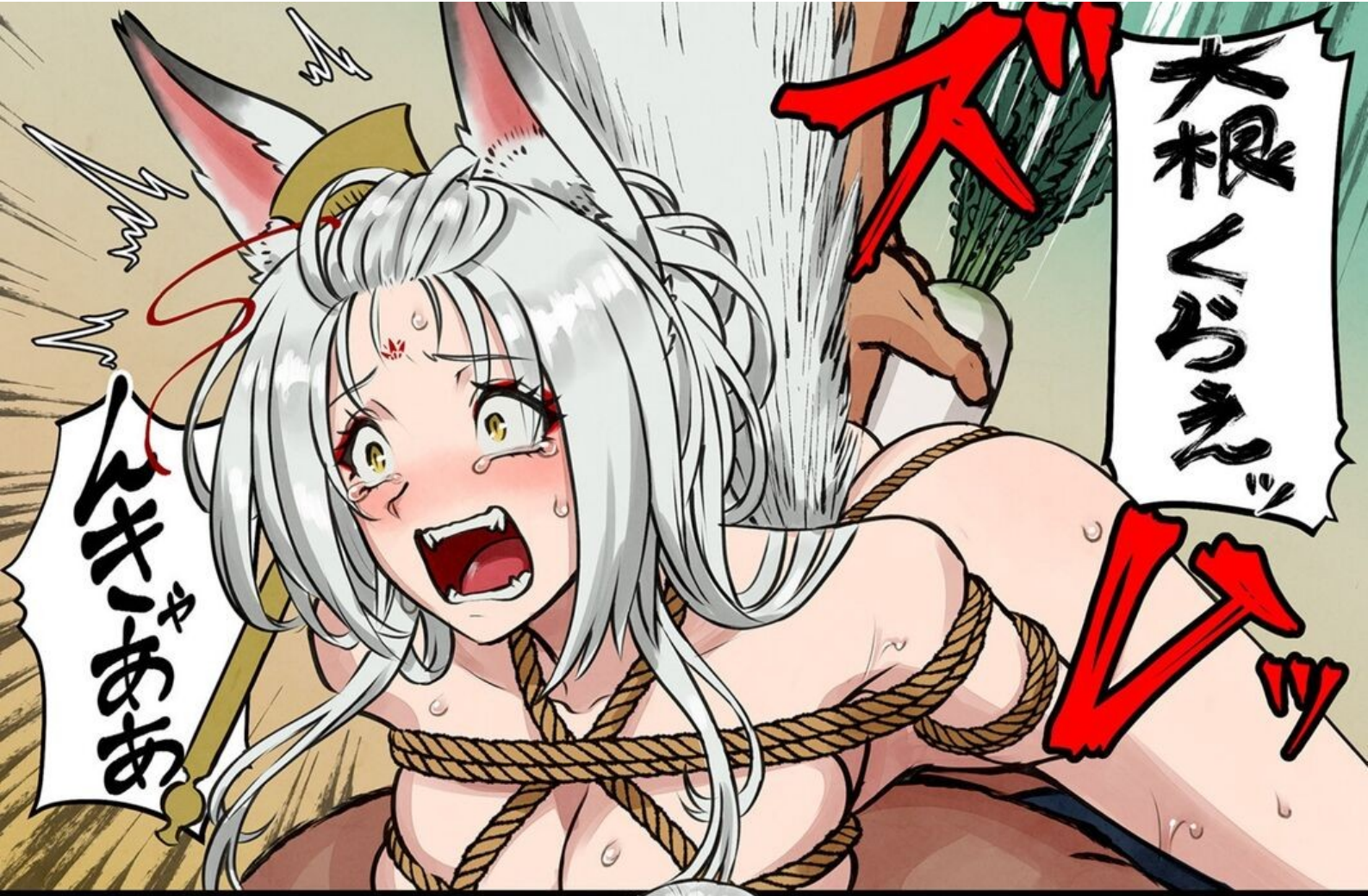


ブルブルッ

こ、これは
我慢できん!!

やッ!
ダメッ!
出さないで!!





大根くらえ

グ

グッ

ギョッ



くろくろくろ
その鳴き声が
たまらんッ!

アヒヒヒ

ヒヒヒ



腹が裂けち
まいんすうろッ

うああんっ!!

グッ
グッ



ぬおおおおッ
締めりが一層強く
なりおった!

ギョッ

是が非でも
孕ませたく
なる!!

オオオオオ
オオオオオ
オオオオオ

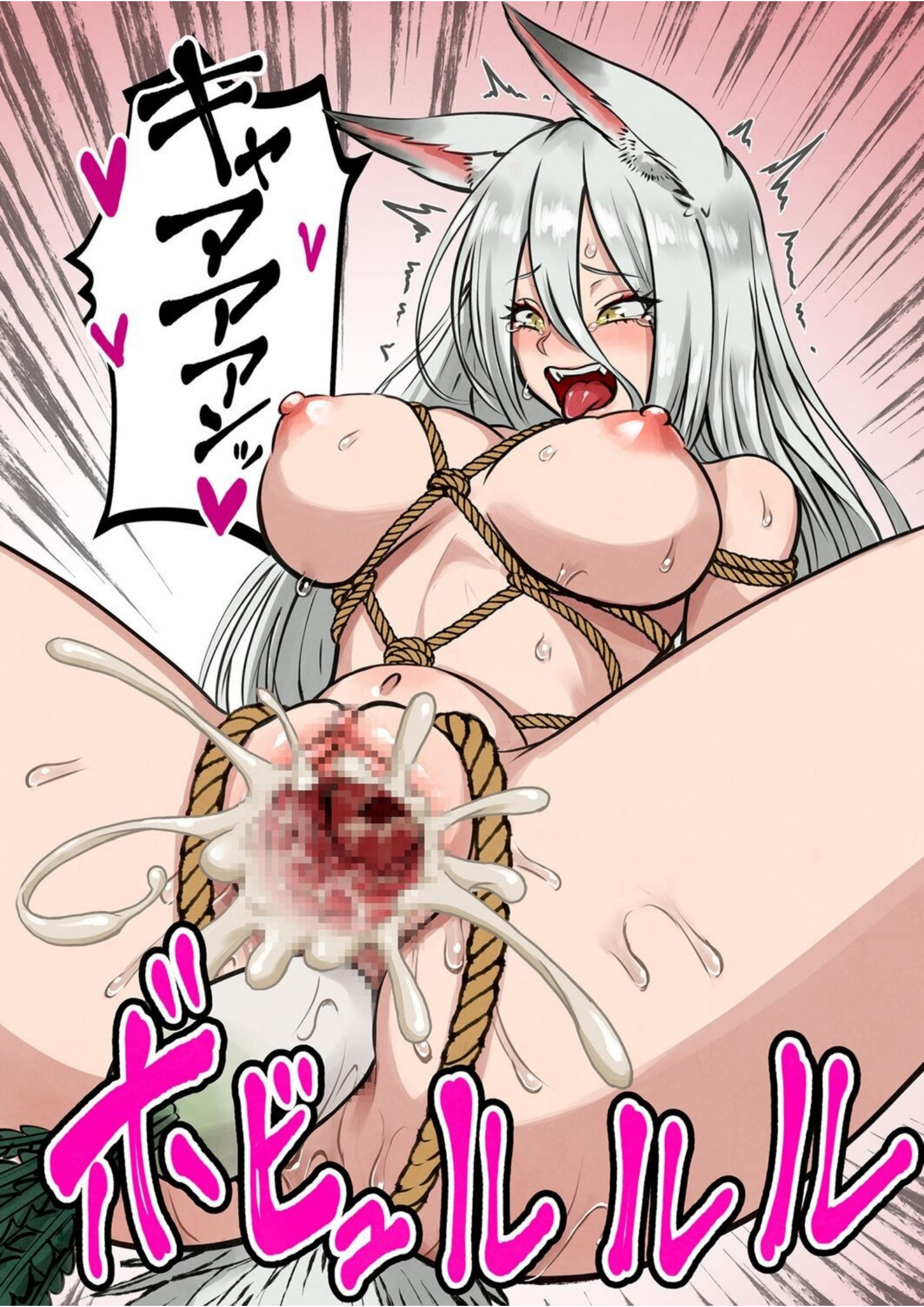
射^で精^るるッ

特濃種汁が
射^で精^るるぞおツ!!

せりゅ

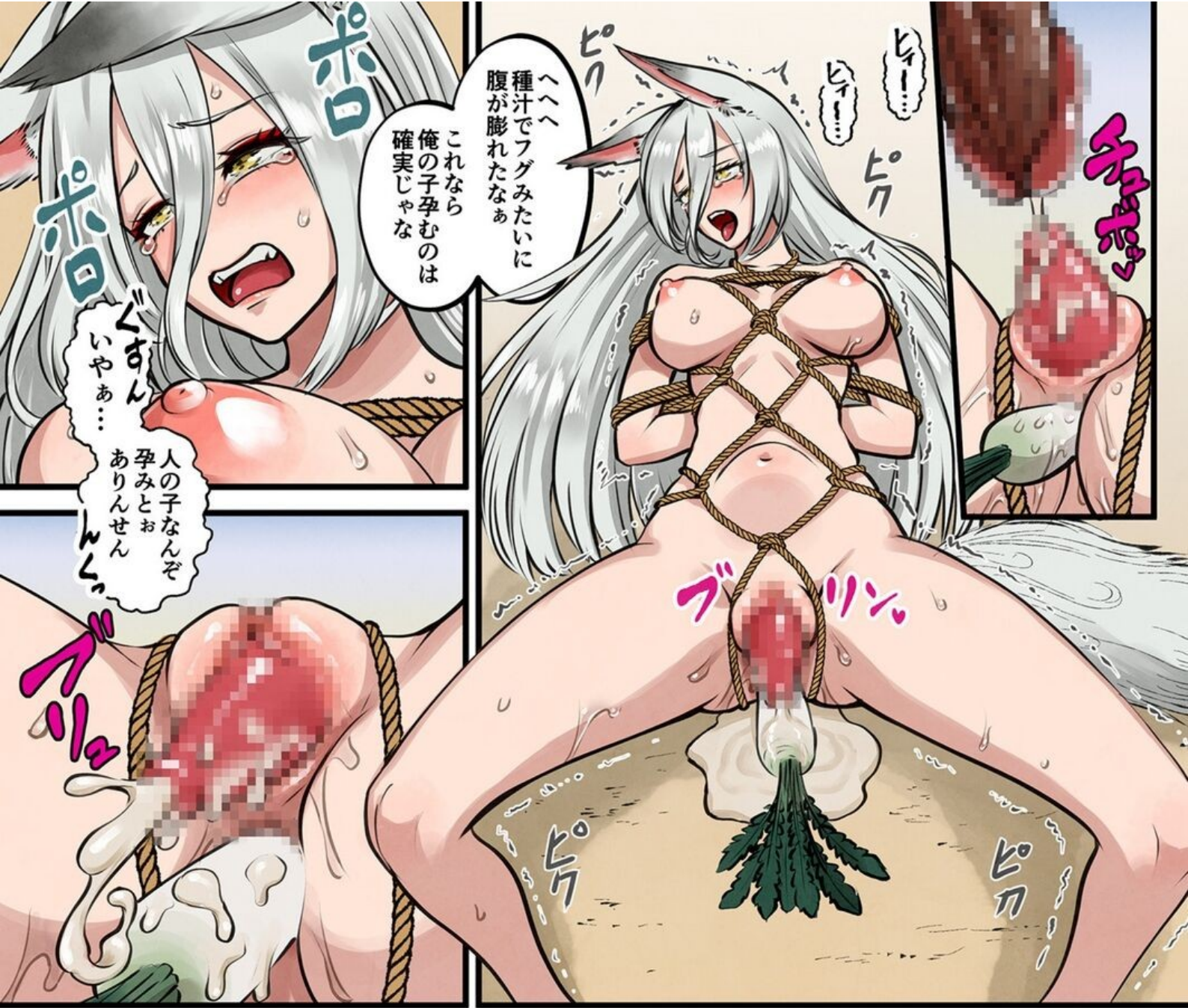
オレ
人の子
孕めえええ!!!

オオオオオ
オオオオオ
オオオオオ



おっぱい

ズビュルルル



へへへ
種汁でフグみたいに
腹が膨れたなあ

これなら
俺の子孕むのは
確実じゃな

ぐまん
いやあ...
人の子なんぞ
孕みとお
ありんせん

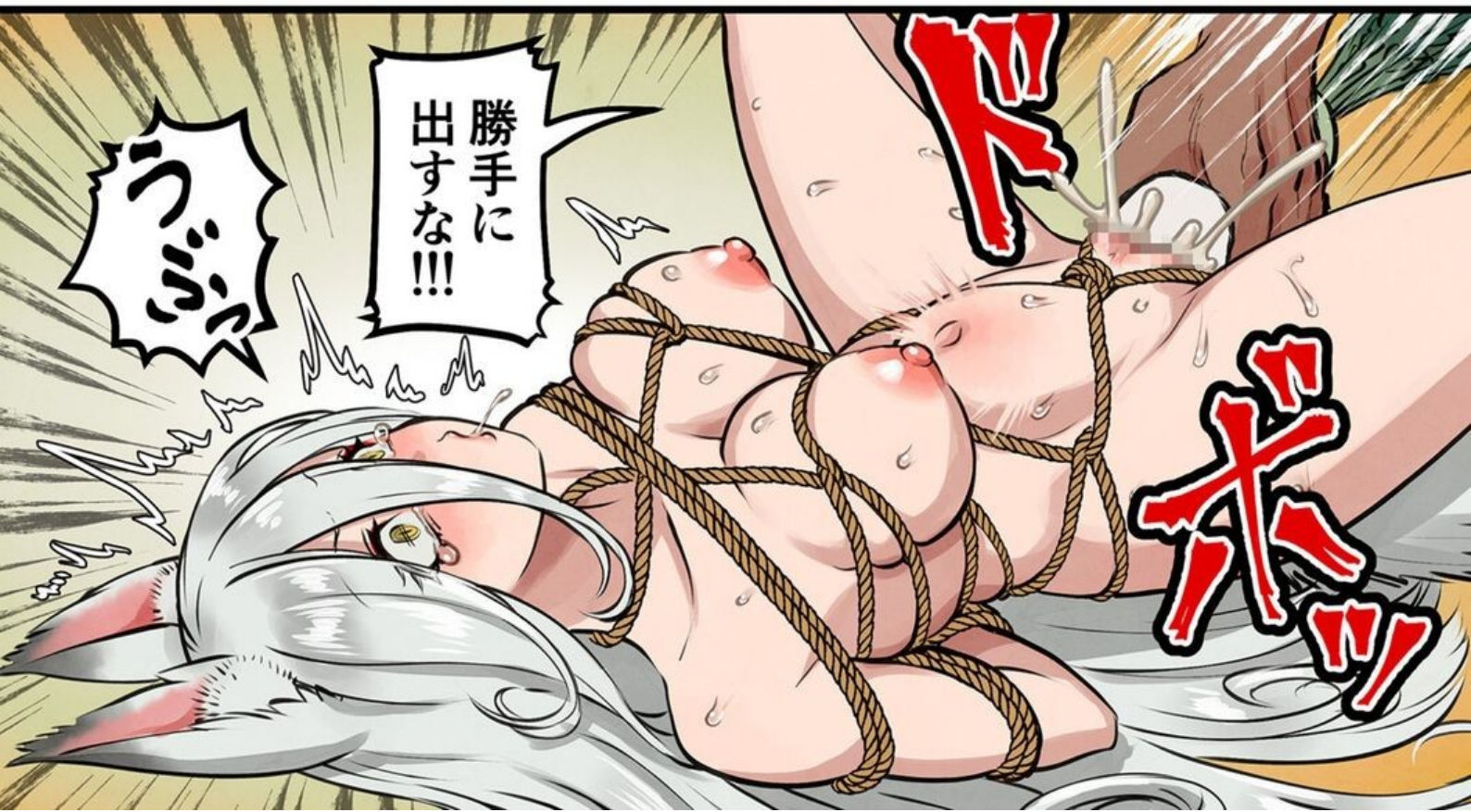
ポロ

ポロ

グハッ

グリン

子孕

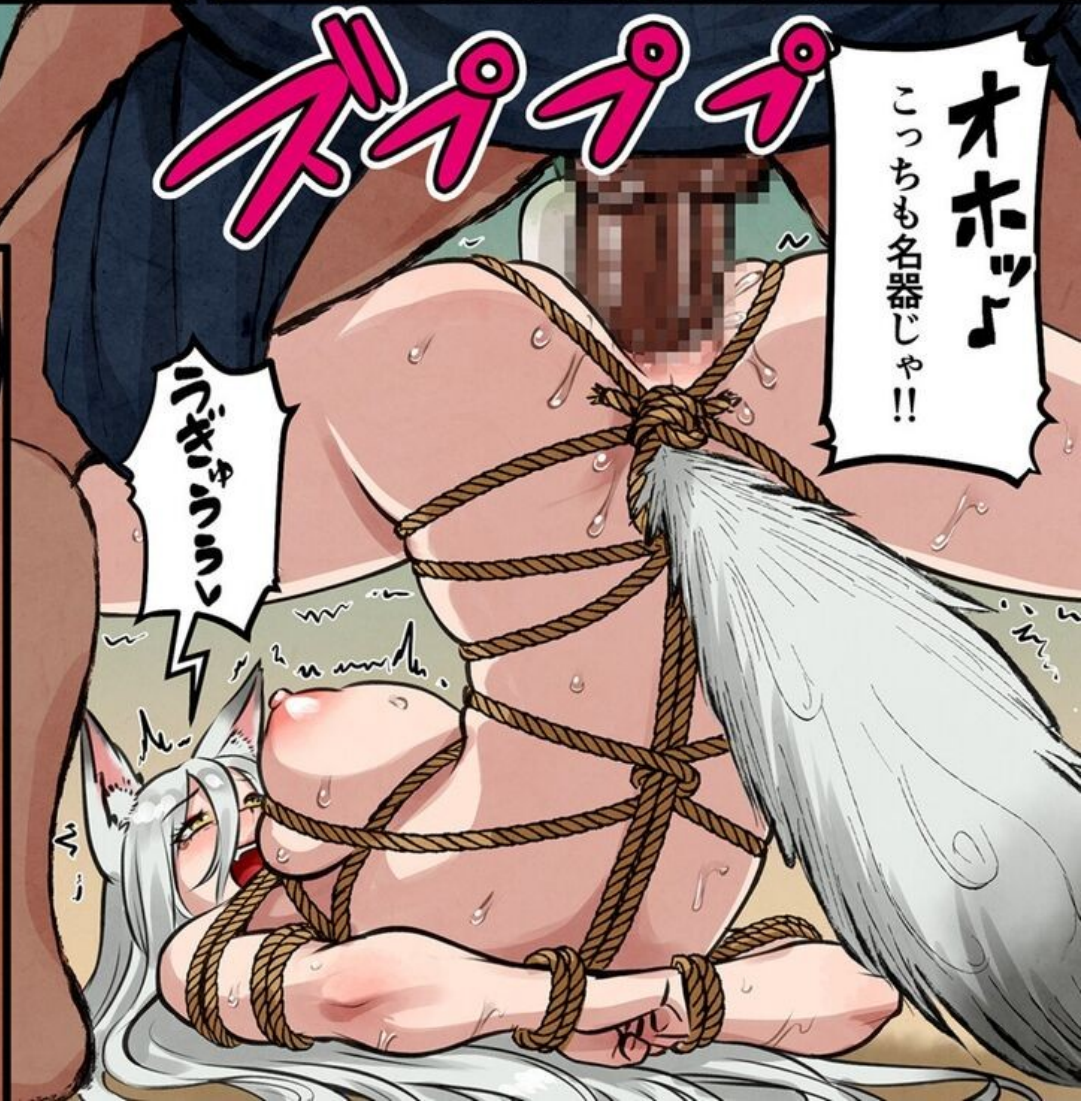
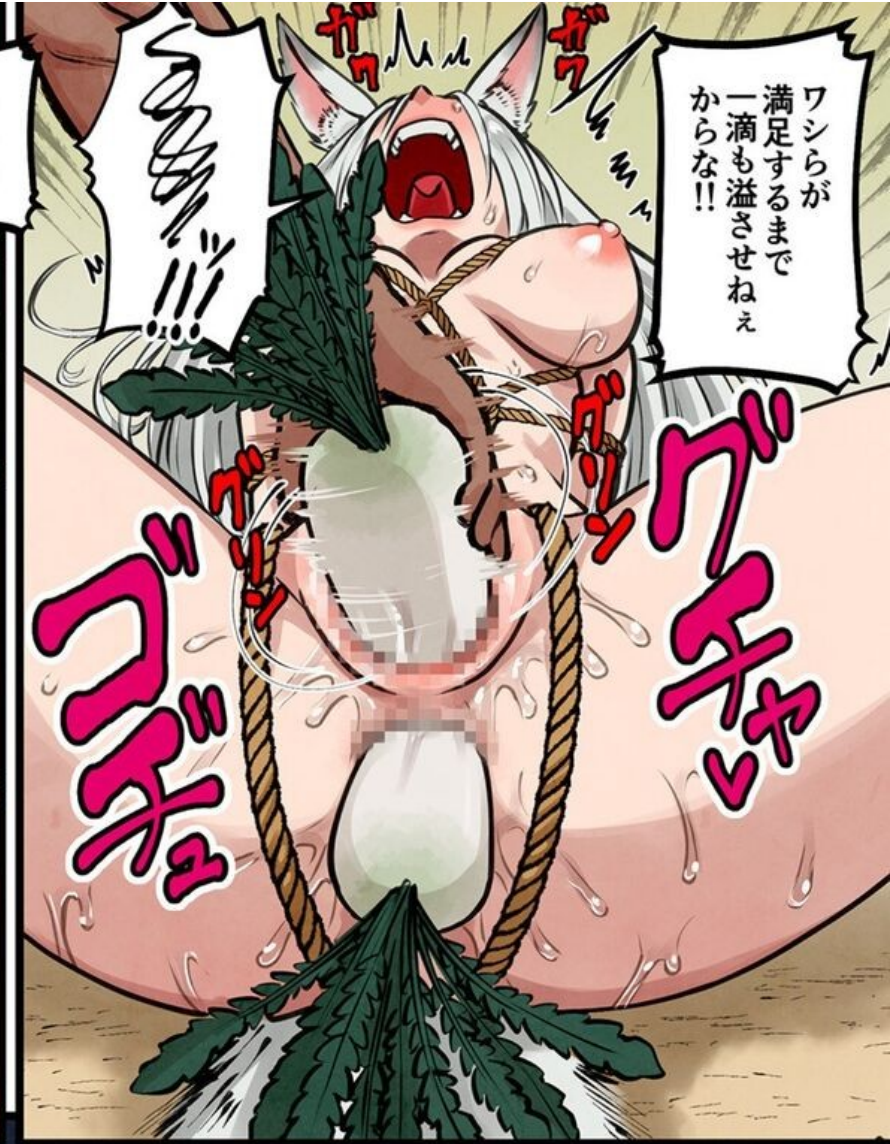


勝手に
出すな!!!

うん

ド

ポッ





おう
やっと復帰か
ワシの後じゃ緩いかも
しれんが楽しんでくれや



今度こそおめこ
使わせてくれや



すぐ魔羅に
むしゃぶり付いて
離れなくなる
じゃろッ



かまわねえよ
大根突っ込んで
こんだけ吸い付くんだ



孕むまで何度でも
種汁注いでやるから
覚悟しやがれ!

られか…
たひゆけてえ…♡

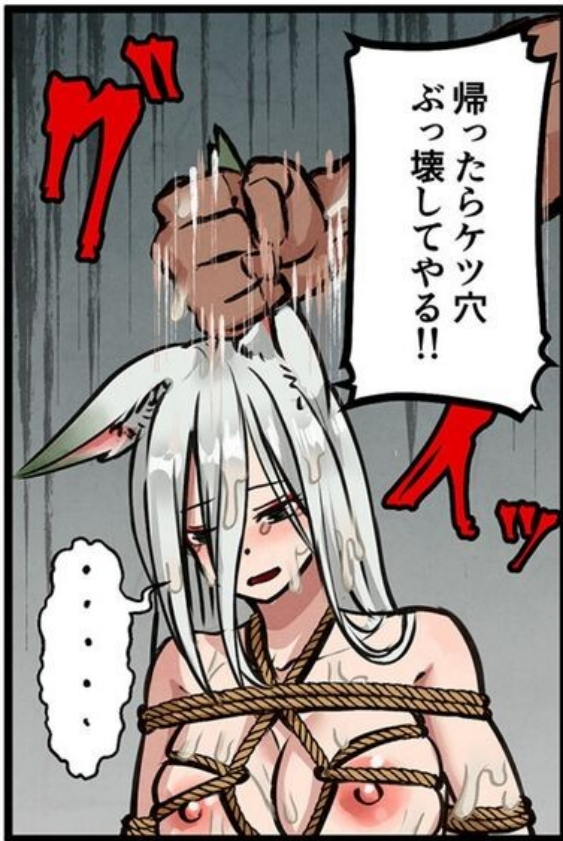
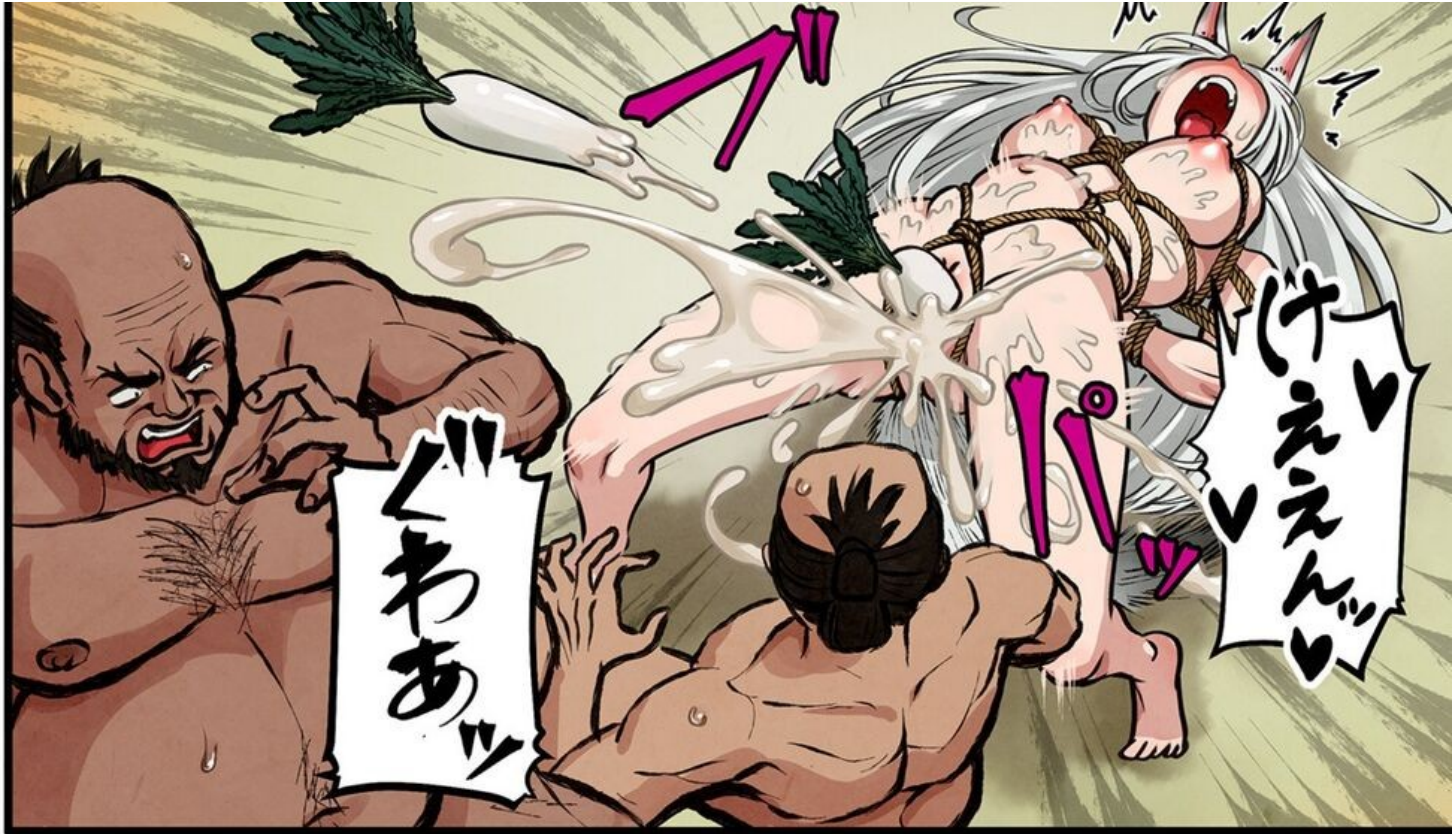
こうして子女郎は
二人の慰み者
として痛ぶられ

大根で栓を
されながら
犯され続けた

ふう〜
出した出した

ど

ロオ



今度は何事もなく舟は進み村へ帰ることができた

こうして放心状態となった子女郎を再び魚籠に押し込めた二人は

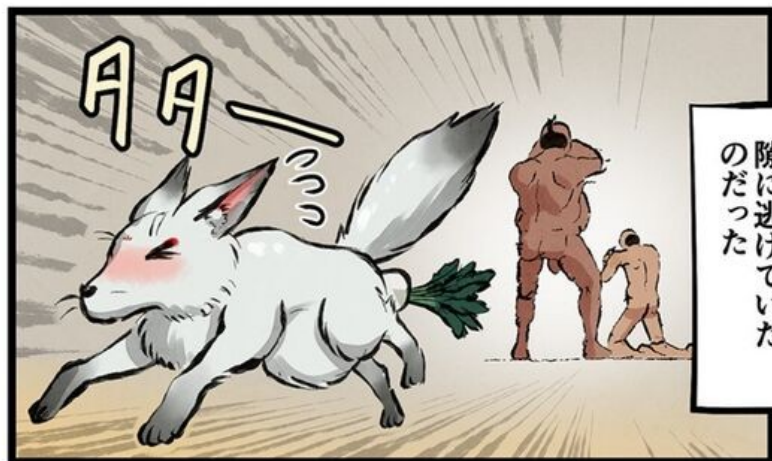


しかし



村へ着いた二人は「子女郎を捕まえた」と村人を集め

ボロ雑巾のように汚された姿を晒して辱めてやろうとした



本物の子女郎は精液をひっかけた隙に逃げていたのだ



中には縄で縛った精液まみれの大根一本だけで

!!!

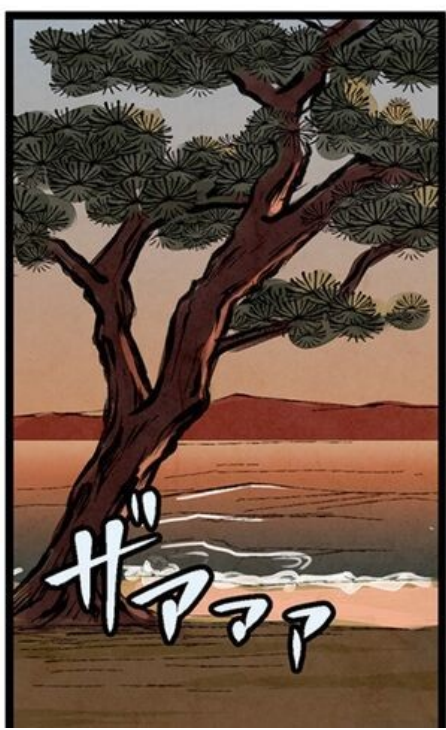


当然二人は笑いにされ

「大根姦の豪傑」と呼ばれるようになったとき



ガッ



ガァァ



おのれ子女郎ッ!!

いつかこの恨みはらしてくるッ!!

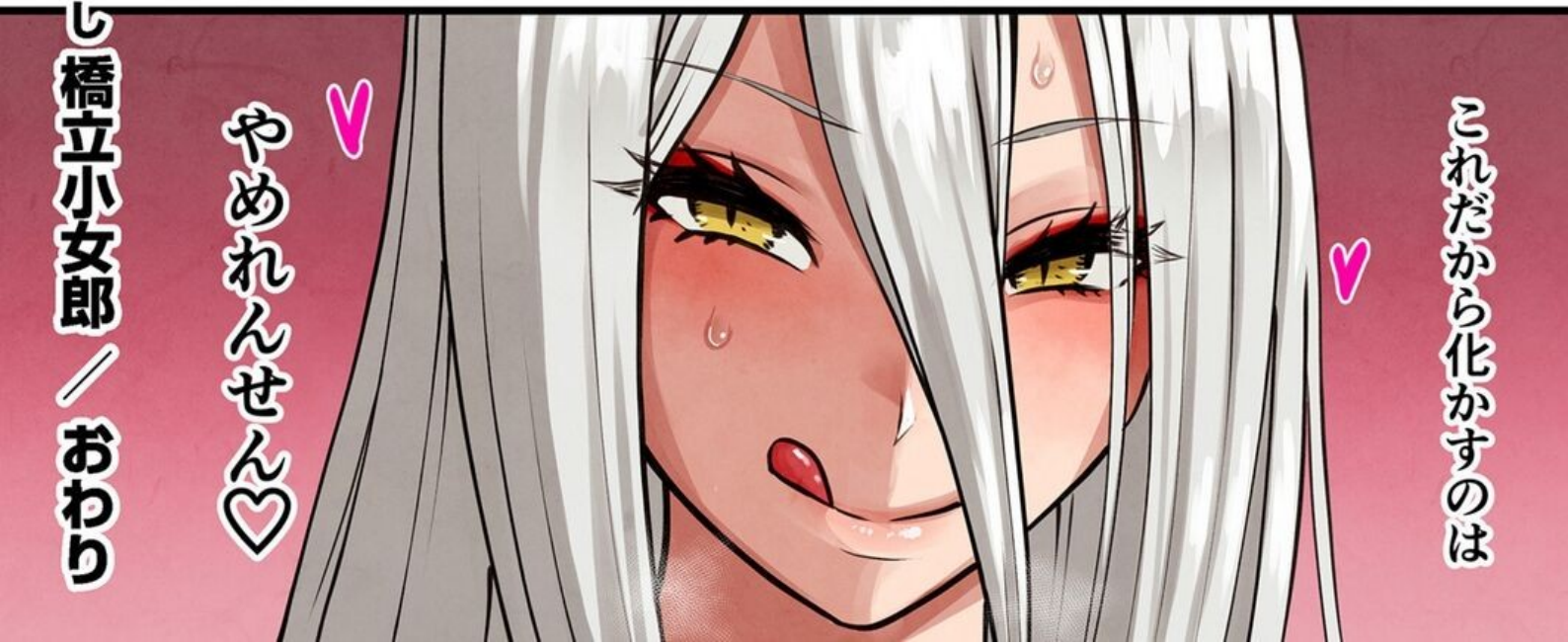


やはり
人間の乱暴な交尾は
堪らんでありんす♡

んふ〜

ドポポ

日本昔エロばなし 橋立小女郎 / おわり




やめれんせん♡

これだから化かすのは

日本昔エロばなし(3)『橋立小女郎』

著者 池竜静留

発行 プレステージ出版 

★この作品はフィクションです。実在の人物・団体・事件などには一切関係ありません。
★本書の一部あるいは全部を無断で複製、転載、上映、放送、配信、送信したり、ネットへのアップロードなどは、著作権法上での除外を除き禁止します。
